

光潮会報



も く じ

光高等学校創立 80 周年	守田義昭	3	部活動の足跡	16
創立八十一年目の第一歩	川口郁史	4	大学・短大等の合格者数	21
関東支部 新体制でスタート!	松尾 清	5	就 職 状 況	23
「ぶちええのォ」	山崎稔彦	6	離着任教職員	24
デジタル時代の今こそアナログ・コミュニケーションを	福田恒典	7	編 集 後 記	24
対談 光高・同窓会の草創期からの思い出をたどる	藤本竹登さん・岡村晃治さん	8	役 員 一 覧	25



山口県立光高等学校

光潮同窓会

第70号

平成29年8月

光潮同窓会

サイト内検索
文字サイズ
小 中 大



新着情報 | 光潮同窓会について | 光高校の実績 | 会員の活躍 | 校歌・応援歌 | 掲示板

同窓会総会のお知らせ

平成 27 年度
光潮同窓会総会のご案内

日時 平成 27 年 8 月 15 日 (土) 11 時から
場所 ホテル松原屋
光市虹ヶ浜 3 丁目 9-16

当幹事は、卒業年度の末尾の数字が昭和は 5 と 0
平成は 7 と 1 の卒業生の皆さんです。

同窓会報バックナンバー

光潮会報 光潮会報
第 67 号
平成 26 年 8 月

バックナンバーは
こちら

リンク

山口県立光高等学校

光潮同窓会
Facebook ページ

光潮同窓会
公式 Twitter

掲示板

- 2015 年 7 月 26 日 掲示板 高校時代の出来事で一番印象に残っていること New
- 2015 年 7 月 21 日 Twitter そうそう！光は山口大会ベスト 8 入りなんよ！！母校だからめっちゃ応援してる！！この勢いで次の下関国際にも勝ちちゃって今日の内から祈ってるわ

新着情報

- 2015 年 7 月 24 日 同窓会総会 平成 27 年度 同窓会総会及び懇親会のお知らせ New
- 2015 年 7 月 24 日 お知らせ 平成 27 年 8 月 15 日 (日) 正午から 光潮同窓会ホームページ運用を開始します！ New



事務局 〒 743-0011 山口県光市光井 6-10-1
TEL 0833-72-0340 (光高等学校内)
サイト URL http://hikari-dousoukai.net

お問い合わせ | サイトマップ

Copyright (C) 2015 Kochodosokai All Rights Reserved.

情報をお寄せください

表紙の題字
柏木 裕美 さん
(昭和 53 年卒)

表紙の絵
「島田川の桜」
那須 章子 さん
(昭和 33 年卒 光市在住)

平成二十九年度
光潮同窓会総会のご案内

日時 平成二十九年八月十二日 (土)
十一時～

場所 ホテル松原屋
光市虹ヶ浜三丁目九一十六
(電話〇八三三―七二一〇〇四七)

次第

11 時～11 時 30 分 総会
11 時 45 分～14 時 懇親会
会費 三千元

本年の当幹事は、卒業年度の末尾の数字が、昭和は 7 と 2、平成は 4 と 9 の卒業生の皆さんです。
当幹事の学年は、この機会に合わせて、同期会を是非開催してください。

光高等学校創立80周年

会長 守田 義昭 (昭和42年卒)



同窓生をはじめ関係の皆さん、平素から光潮同窓会に対するご支援とご協力に感謝いたします。

さて、母校光高等学校は、昭和11年に設立された旧制室積高等学校が始まりで、昨年、創立80年を迎えました。同年11月、母校体育館で記念式典が開催されました。同窓会は、昭和16年、室積高等女学校の1期卒業生により結成された同窓会が始まりとなります。

その後、昭和21年旧制光中学校1期卒業生による同窓会が光竜同窓会となり、昭和28年、高等女学校と旧制中学校の同窓会が統合して、現在の光潮同窓会になりました。

同窓会の創立は、学校の創立から遅れること5年、本年、発足か

ら76年目を迎えています。

今までの卒業生は、およそ2万人、文字どおり各界各層、幅広い分野で活躍しています。

東京には関東支部、大阪には関西支部が結成され、それぞれ活発な活動が続けられています。

同窓会では、毎年夏に総会と懇親会を開催し、年1回同窓会報を発行しています。

同窓会は、卒業生相互の親睦と交流、卒業生に対する支援などの活動を行っています。私は、光高校の発展と活性化に向けて、学校への支援と母校生徒に対する部活動の支援などを特に積極的に行っています。

卒業生をはじめ関係の皆さん、光高校並びに光潮同窓会に対して、これらも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

紙幅がありますので、全く違った話題にいたします。

至極当たり前の内容で恐縮です

が、ご寛容いただければと思います。

皆さん、「思いやり算」という言葉をお聞きになったことはあるでしょうか。

公共広告機構のテレビのCMで、以前、「おもいやり算」という算数が放送されていました。

ご覧になったことがあるでしょうか。

人を笑顔にする算数です。

優しい「思いやり算」です。

◎「+」(たす) たすけあうと大きな力に

◎「-」(ひく) ひきうけると喜びが生まれる

◎「×」(かける) 声をかけるとひとつになれる

◎「÷」(わる) いたわると笑顔は返ってくる

私は、この「思いやり算」の言葉の一つひとつがあたたかいと思います。

テレビのCMでは、バスを降りるお年寄りに手をかしたり、ベビー

カーを代わりに持つて歩道橋を渡ったり、公園のベンチでうずくまる子どもに声をかけたり、下校途中、雨に濡れる女の子に傘を差しかける男の子などの画面が映し出されていました。

「思いやり算」のように、一人ひとりのちよつとした気遣い、心遣いで笑顔があふれるあたたかい世の中になっていくものと思います。

行き過ぎれば「おせっかい」、何もしなければ「無関心」になりがちな「思いやり」という行為も、この「思いやり算」にあてはめれば、誰でも簡単に自然に行動できるのではないのでしょうか。

困っている人や悩んでいる人を見かけた時、「思いやり算」をふと思いついてもらえたらうれしく思います。

笑顔の輪が広がって、優しい世の中にしていきたいものです。

最後に、卒業生の皆さんへお願いですが、どのようなことでもかまいませんので、母校が少しでもよくなりますよう、忌憚のないご意見やご提案を同窓会にお寄せください。

同窓生をはじめ、関係の皆様がますますのご活躍とご健勝を祈念し、結びとします。

創立八十一年目の第一歩

校 長 河 口 郁 史



光潮同窓会の皆様方には、平素から母校の教育活動充実のために、物心両面から多大なる御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。私は、本校に着任して三年目を迎えました。本校を支えてくださる多くの同窓生の方々の御期待に添えるよう、微力ながら専心取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は、文武両道の校風の下、「知・徳・体・情の調和のとれた、社会の発展に寄与し得る生徒の育成」を教育目標として様々な教育活動を展開し、昨年創立八十周年を迎えました。十一月には、光潮同窓会の御支援も賜り、周防猿まわしの会の村崎與一会長

さんの講演を交えた、節目の年にふさわしい立派な記念式典を挙行することができ、衷心よりお礼申し上げます。

まず、学習面では、進路希望に応じた選択幅の広い教育課程を編成できる単位制と、国公立大学や難関私立大学への進学をめざす生徒を集めた特別編制クラスの取組を核として、進学指導の充実に努めているところです。具体的には、進学実績の回復をめざして、単位制導入に伴う学びの質や深まりを重視する授業改善とともに、特別編制クラスにおける学習合宿や課外授業の充実など、上級学校への進学に重点を置く取組を推進しています。

一方、部活動では、ヨット部が毎年のように、国体や世界大会に出場し、昨年は国体で総合優勝を飾りました。また、陸上部がインターハイと国体、放送部もNHK杯全国放送コンテストと全国高校総合文化祭というように、全国レ

ベルの大会に出場し、活躍しました。野球部も、昨年の大会で県決勝大会に進出し、この夏の甲子園出場が期待されています。定時制においても、陸上競技部が全国大会出場するなど、各部が確実に実績を上げています。

こうした中、今年度、創立八十一年目の新たな一歩を踏み出したところです。この光高生が確かな歩み続けるには、進学に対する意識を更に高め、良さや可能性をしっかりと伸ばす教育実践が必要であると実感しているところです。折角高い潜在能力を持っているのに、進学に対する目標や意識が低いために、その優れた能力を発揮できていない生徒が多いような気がしています。今の光高生に求められるのは、「目標は高く、覚悟を持って事に当たる」という意識改革であると認識しています。

そこで、本年度のスタートに当たり、生徒達に後藤静香さんの次の詩を紹介しました。

十里の旅の第一歩

百里の旅の第一歩
同じ一歩でも覚悟がちがう
三笠山にのぼる第一歩

富士山にのぼる第一歩
同じ一歩でも覚悟がちがう

どこまで行くつもりか
どこまで登るつもりか
目標がその日その日を支配する

生徒達には、「高い目標を持つと、自ずとしっかりした覚悟ができ、一日一日が充実したものになる」「今の実力より数段高いところに目標を定め、まさに『富士山に登る覚悟』をもって力強い一歩を踏み出し、希望進路の実現に向け、着実に歩みを進めて欲しい」と伝えたとところです。今後折に触れ、意識改革を訴え、一人ひとりが持つ良さや優れた能力をしっかりと発揮できるよう、支援していきたいと考えています。

その一環として、六月に会計検査院の河戸光彦院長様（昭和四十七年卒）をお招きし、講演会を開催しました。後輩達への熱い想いで、夢の実現に向けた適切な御示唆をいただき、意識を変えられる良い機会となりました。河戸様には、貴重なお話を賜り、改めて感謝申し上げます。

今後とも、生徒の意識改革を図る取組を力強く推進し、「光輝く光高校づくり」に取り組んで参りますので、同窓生の皆様には、変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。

支部だより

関東支部

新体制でスタート!

関東支部会長 松 尾

清 (昭和 46 年卒)

みなさん、こんにちは。平成二十九年度はたくさんの方に事務局に入っていただき、やっと活動を開始いたしました。新体制は、下記のとおりです。

会 長 松尾 清 (昭和四十六卒)
副会長 古地 昭彦 (四十卒)

事務局長 常光宗一郎 (四十二卒)
事務局次長 大串 正春 (四十五卒)

会 計 高山 信夫 (五十五卒)
監 事 中村 文彦 (五十五卒)

第一回の事務局会議を四月七日(金)に開催し、今年度の行事予定を確認しました。事務局長以上、初めて任につく方が多く、みんなで相談しながら事務を進めております。

常任幹事会 五月十三日(土) 十二時
学年幹事総会 九月二日(土) 十二時
支部総会 十月二十八日(土) 十三時
常任幹事会 十二月二日(土) 十二時
(会場は いずれも 四谷プラザエフ) として、話は変わりますが、昨年



新年会 (1月18日 青山にて)
(下段左より) 藤井、松尾、西崎、松尾子息、
(上段左より) 中村、古地、大串、大國、常光、久芳、高山

高校卒業以来四十六年ぶりに旧友 H君と再会することができました。お互いに会いたいと思ってはいましたが、行方は知れず、時は流れていきました。H君が光潮会関東支部の事務局に一報をくれ、とんとん拍子で再会できました。この会が果たす役割の一つなんだと気づかされます。

昨年暮れ、平成三十二年光高

と光高の統合の話に耳にしました。こちらで耳にする話ですから真実だろうと思います。私も驚きました。この話を聞けば関東支部の会員のみなさんもさぞ驚かれることと思います。少子化の影響は、高校の統合という結果を生みます。将来的には、光潮同窓会というこの組織自体も変化を求められてくると考えます。

統合後は、校舎の位置は？校名は？校歌は？など次々と気になります。しかし、変わることを憂うのではなく、変わっていく母校をあらゆる方向から支援し、前進する姿に拍手が送れるよう努めてまいります。



= 関東支部事務局ご案内 =

〒 164-0012
東京都中野区本町 6 丁目 34 番 21 号
アポロ環境衛生(株)内
事務局長 藤井政道 (昭和 47 年卒)
T E L 03(5340)3055
F A X 03(5340)3088
E メール info-b@apolokannkyou.co.jp

平成 29 年度

関東支部総会のご案内

日時 10月28日(土) 13時
場所 主婦会館プラザエフ

東京都千代田区 6 番町 15
電話〇三(三三六五)八二二
最寄り駅 JR 四ツ谷駅
(麴町口より徒歩 1 分)

「ぶちええのオ」

関西支部 山崎 稔 彦 (昭和49年卒)



私は昭和49年度卒で東京の大学にいき、なり行きて神戸に住むようになった。今、訳あって自営業。今、自営業は大変である。職種によつては大企業にどんどん駆逐される。でそのあたりはどうであれ、私は今、両親の介護の為、光と神戸を月2回、一回4〜5日間というペースで往復している。

これは自営業という「時間はある程度自由になるだろう」という考え方がベースになっているが得意客様にも当然影響が出てくる。1ヶ月の内、土日を含め10日間前後神戸にいないと心配だと言う。また反対によくがんばっていると思われ、評価して頂ける方もおられる。また帰省の経費は父親が「これもお

前の仕事の一部分みたいなものだ」と言う事で出してもらっている。しかし帰省する時の損失をカバーしきれない。まあ、そういう所は家族だからという一言で了承しなければならぬ。サラリーマンだったら今、社会問題になっている「介護離職」になると思う。家族を都会に残して介護の為、親のいる古里へしかたなしに帰るといふ訳である。昔の「錦を飾る」どころではない時代になってしまった。

私は自分自身の今の状況を「介護帰省」とよんでいる。私は介護帰省は実はそんなに苦ではない。生まれ育った美しい光市、友人も多々いる。恩師も健在でうれしい。逆に帰省するたびに「神戸には帰りたくないの」と思ったりする。心のすみにストレス解消や息ぬきという役得を感じている事もあると思う。

しかし帰省するたびに「売り土

地」「売り家」とかの看板が目立つ。光市も御多分にもれず過疎化が進行しつつある。実は私は政治に興味ありこのあたりの問題は敏感であるが今はとかく言わないが市政が根本的に対策してるといふ感じが伝わってこないのが不安である。また、もう一つ気になる事は方言を大事にしないのではないかと

いう事である。私も若い頃は本当に田舎っぽく、かつ乱暴的に聞こえる等、方言がイヤだなと思つた時期があつたが、今は違う。あれは一種の無形文化財であり、あの響きにはその地方の底力を発生させる大きな力がある。誇りがある。思えば我が光市は長州藩の一端であり、テレビの幕末あたりのドラマで、長州藩側を演ずる俳優がちよつと変だが「おまはん、がんばつちよるのオー」とか「そうじゃ」とか言うのを聞くと体に何か熱いものを感じたりする。

山口県のマスコットキャラク

ターは「ちよるる」と言うが自然と「ミちよる」と出てくる会話をする人は少ない。ちよつと寂しい。土産にも「方言」の名をつけたものがあるが若い人はわかってるかなと思う。テレビ等で標準語がひろまったせいでもいい事も当然あるが、方言のよい所を忘れないでほしい。私は「方言を守って使う会」をつくらうかとも思う事もある。さしずめ「長州のんた会」とかで。また介護帰省した際、ムリして私は方言を大声で言う。コンビニで「袋、御利用されますか」「今日はカバンを持ちちよるけエいらんけエね」と大声で言う。この思いを受け止めてくれるかのオと思

いながら。

デジタル時代の今こそアナログ・コミュニケーションを

平成29年度光潮同窓会・懇親会実行委員長 福田恒典(平成4年卒)



光潮同窓会会員の皆様、今年も光潮同窓会の開催時期が近づいて参りました。

今年度は、「平成4年」卒業生が幹事を務めさせていただきます。

今から遡ること25年前の平成4年3月、私達たちは、それぞれの将来に大きな期待とほんの少しの不安を胸に、同級生と笑顔で光高等学校の校舎を後にしました。

その年は、国家公務員の週休2日制や公立学校では第2土曜日を休業日とする学校週5日制が始まり、学生や社会人を取り巻く環境が変わり始めた年でした。また、近頃イクメン、イクボスという言葉がかなり浸透してきていますが、育児休業

法が施行されたのもこの年でした。

また、現在の生活に欠かすことのない重要なコミュニケーションツールである携帯電話も、私たちが光高等学校を卒業する頃に普及し始めました。その頃の携帯電話は家庭用電話機の子機くらいの大きさがありましたが、今では長財布より小さく、薄くなりました。

しかし、サイズのコンパクト化とは逆に、その性能はインターネット機能が盛り込まれたことよって、会話をするだけのツールから、いつでもどこでも世界中の情報を収集できるツールになりました。

さらには、LINE、フェイスブック、インスタグラムやツイッターに代表されるインターネットツールにより、世界中に情報を発信することも出来るようになりました。

このように時代の進化とともに、人とのコミュニケーションの在り方も変化していますが、時にはデジ

タルなコミュニケーションではなく、実際に顔を見て話をするアナログなコミュニケーションも良いのではないのでしょうか。

私は職業柄、多くの人と実際に会いして話をします。電話で要件を済ます事も時にはありますが、やはり重要な事は、実際にその人と会って進めるようにしています。

それは、相手の仕草・表情・声色の変化などをお互いを感じ取って話を進めていく方が、思いが伝わりやすく、考えているからです。その相手が今後も繋がりを持つ同級生なら、尚更、会って話をする方が良いのではないのでしょうか。

卒業後しばらく連絡を取り、年に何回も集まって顔を合わせていた同級生も、就職・結婚・育児等をする年齢になるにつれ、徐々に集まる回数や連絡を取る回数が少なくなり、「同級生と久しく会っていない」

という方も多いと思います。

そういった方も含め、光潮同窓会で同級生と会い、良い刺激を受けてリフレッシュしてみたいかがでしようか。

違った道を歩んでいる同級生たちは、前に連絡を取った時よりも多くのことを経験し、確実に一回りも二回りも成長して器が大きくなっているはずですよ。

私も同級生とともに、会員の方々が笑顔で会える場所を設営するとともに、参加された方が次回の開催を楽しみにしていただけるとなるように準備を進めて参ります。

次世代へ光潮同窓会を繋ぐためにも、本年度の卒業生を始めとする会員の皆様、是非ともご参加くださいますようお願いいたします。

8月13日に燦々と輝く光にて、笑顔で逢いましょう。

先輩に聞く く 藤本竹登さん・岡村晃治さん 対談 く

光高・同窓会の草創期からの思い出をたどる

光高の前身のひとつである室積高等女学校ができたのは昭和十一年、もうひとつの前身、光中学校ができたのは昭和十七年でした。大戦、戦後の教育改革、学校統合、校舎移転など様々な変遷をたどり、現在の場所に移転したのは昭和四十三年、昨年は創立八十年の記念事業も行われました。昭和五十年創刊の本誌『光潮会報』も今号で七十号になります。さらに映えある歴史の一助ともなれるよう来し方を振り返りたいということ、長きにわたって光高と光潮会のためにご尽力いただいた藤本竹登さん(昭和二十六年卒)、岡村晃治さん(昭和三十三年卒)のお二人にお話を伺いました。

——同窓会も今はどんどん人が集

まる状態ではなくなってきたというところですか。個人情報保護が言われるようになって、同窓会として新しい光高卒業生の入会を勧誘したり、会員に連絡するため住所を調べたりということが非常に難しくなってきたことが一つ。また、集まって飲み食いするようなことを若い人が好まなくなり、あまり積極的でなくなってきたという風潮もあると思います。

そういう中で、同窓会を盛り上げ、また同窓会が光高に役に立つためにどんなことができるかといったところをお二人に教えていただければということ、忌憚のないお話をお聞かせください。

戦後の大変遷を経て 誕生した新制「光高校」

藤本 私は昭和二十年、旧制光中学校(以下「光中」)第四期の入学です。戦争末期で、夏には敗戦、と

いう時期です。

入学後四年間、私の実家があった光井の戸仲から、今の浅江小学校のところにあつた光中まで、近所の友人四、五人とてくてく歩いて通っていました。その間、戦後の教育制度改革が次々に行われ、学校制度は大きく変わっていきます。

新制の高等学校スタートは二十三年度です。光中は山口県立光高等学校と改称され、昭和二十四年には光女子高等学校と統合されて現在の光高等学校が発足しました。

統合後は、東校舎(旧光女子高の校舎)と西校舎(現浅江小)のどちらに行ってもいいということ、私は二年と三年は新開にあつた東校舎に行きました。浅江より新開のほうが近いですからね。

東西の校舎に分かれる大体の線引きは今の警察署です。今の光高校に行く大きな通りがありますね。そこで大まかな線を引いて、ただ

し強制はしないということ。そのまま浅江の西校舎に行った人もいます。室積方面から、そのまま西校舎に行った者もありました。

卒業は昭和二十六年です。二十五年、我々が三年生のとき、いわゆる朝鮮戦争が始まった。我々が聞いたのは、二十五年六月二十五日に北朝鮮が南朝鮮(韓国)に攻め入ったということでした。

——その当時は光高全校で何人ぐらいの生徒がいたんですか。

藤本 我々の学年の卒業生が二百二人でしたか。だから全校で六百人はおつたでしょうね。ついでに言う、私の息子が光高を卒業した昭和五十五年から娘が卒業した五十七年とか六十年前後のころ、河中正登さんとか宇野哲丸さんが校長だったころは、定時制の生徒も合わせると千人くらいはいました。だから校医も二人になりました。それが十年以上続いたと思います。大規模校の仲間入りをし



(左から) 藤本竹登氏、岡村晃治氏

たわけです。

ようやく実現した 甲子園出場が2年連続!

藤本 私が同窓会にかかわるようになった経緯を話しましょう。

私は大阪大学を出てから光に帰って光井で歯医者をやっていた。昭和三十八年から医師会の命令で聖光高等学校の校医をやらされたんです。そのころ聖光の生徒は千五百人以上いました。今は取り壊された元の体育館で健診していました。やりきれん程たくさん生徒がいました。

そして四十六年に「お前は光高が母校だし、聖光は生徒数が多くてくたびれたらうから光高へ行ってくれ」ということになりました。それ以来、野球部の監督だった坂本昌穂さんがやめるまで光高の校医でした。

光高の校医になったら、校医も準職員だからというので職員録に載るんです。それで、職員は自動的に母校の同窓会の世話をする、同窓会の役員になる。規則はないけど、そういう習慣があった。それは私も知っていました。だから四十六年から、役員の端くれで特別なポストにはついていなかった

けど、光潮同窓会に関わるようになりまして。

話は長くなりますが、坂本さんは六十三年に光高に来たんです。当時、新日鉄からコーチをお願いしており、引き継ぎに二年ばかり要したと思います。私が新日鉄の管理部長に、光高野球部の手助けをしてもらえないかと相談に行ったこともありまして。

坂本さんが正式に光高の野球部監督に就任したのは平成二年です。そして、翌三年には、坂本監督の指揮で夏の県大会の準々決勝まで勝ち進んだ。宇部商と対戦して、四回に一点先取し、七回まで一対〇で勝っておったんですが、七回に二点とられて逆転負けしました。その宇部商が甲子園へ出た。

ところが、それを見た光周辺の中学生がざっと二十五人、光高野球部に入ってきたんです。ピッチャーで甲子園に行った前田夏樹とか、周南や熊毛のほうからも、たくさん来ました。それで強いチームが組めたわけです。平成五年と六年の夏は二年連続で甲子園に出場しました。坂本監督が光に来られるのに縁の下の力持ちになっていただいたのは宇野校長です。

それまでは光高が弱かったから

長い間、部員も少なかった。九人か十人ぐらいの部員で、時には助っ人を集めて試合に出るといようなこともあったとか。校医をやっていたからそのあたりの事情は知っています。(その宇野校長さんが長い闘病の甲斐もなく四月十一日亡くなられた)。

秋も二年連続で中国大会まで勝ち進んでいます。秋の県大会は、平成五年は優勝、六年は準優勝でした。当時、私は野球の後援会長もやっていました。平成五年の秋は倉敷のマスカット球場で試合がありました。その後、島根県の江の川高校に負けました。その後、校名は変わりましたが、江の川は関西地区から選手を集めていて、ラグビーとか野球とか強かったです。平成六年の秋は昔から強かった浜田高校に負けました。これも僅少差です。大負けとかじゃないですよ。甲子園では二回とも一回戦で四対二で負けたが内容的には接戦でした。前田夏樹はいいピッチャーでした。今でも残念なのは、自他共に県下ナンバーワンを誇った平成八年の夏、第一シードの初戦、柳商に逆転負け、その相手が甲子園へ。

一番の思い出は 光高五十周年記念事業

藤本 私は六代目の会長でした。

一番の思い出は、やはり光高の創立五十周年記念事業です。

それまで、光高は校内行事もやっていたし、同窓会でも何もやっていた。校舎もあちこち移ったし、創立以来、学校史もつくってなかったんです。それに私が気付いて、平田勇校長が着任した五十七年から学校史編集の準備を進めました。

そして、記念の式典と記念行事は、河中正登校長が着任して二年目、六十一年秋にやりました。『光高等学校六十年史』に載っている写真を見たらわかりますが、五十年年の式典には私ら菊会員が菊を並べたんです(裏表紙写真下)。今の講堂の前から演壇の上まで、ずっと。河中校長も自分の菊をつかって持ってきてくれましたね。

五十周年記念事業のほうは、まず記念事業の寄付を集めました。目標は五千万円で、六千六百万円ぐらい集まったんです。

記念事業の目玉だったのが同窓会館(現 光潮会館)です。建築に三千五百万円ぐらいかかりました。

前半の世話は河中校長がやってくれた。落成式の写真には次の宇野校長が写つとるけどね(裏表紙写真上)。

野球では、甲子園出場が決まって、同窓会と後援会で寄付を集めたんです。第一回目は九千七百万円ぐらい集まりました。二回目になったらビビってね、「連続だから集まらないだろう」と言うとしたが、私がいよいよ発破(はっば)をかけて、二回目も六千七百万円集まった。だから甲子園出場二回で計一億六千万円からの寄付が集まるとるんです。

まだ車がなかったから、選手たちは試合にも借り物の小さい車で行った。それで、寄付金で移動用の車を買いました。雨天練習場も建てた。

寄付を集めた後、八月いっぱい後援会の会計を締めました。したら、やっぱり知らん者がおつた。会計を締めたあと、地元へ帰って光高が甲子園に出たというのを聞いて、それから届けてきた寄付が、九月末に六百万か七百万円あった。それで、その残りの一部で平成十年に『合冊 光潮会報 第一号』(第四十号)を作ったわけです。

岡村 藤本先生、よく覚えてますね。年号まで全部覚えておられる。

藤本 よくそれを見えますから。ほんとにすごい記憶力ですね。生きた年表みたいですよ。

旧校舎の思い出—— 羊が廊下をとことこ歩く!?

岡村 私は島田小学校の、今も校舎がある所で卒業したんですが、光高との関係でいうと、先ほど昭和二十四年の話が出たでしょう。あの頃、小学生だったんです。

藤本 十四、五年生まれ?

岡村 はい、十五年です。ちょうど島田小学校から浅江の光中がまともに見えたんです。ぱつと光中の白い壁がまともに見える。それで僕は母に「大きくなったら、あの中学校に行く」と言っていたらしいです。自分ではよう覚えていませんが。

中学は三島中学校で、今は市民ホールになつとる、あそこにあります。それから光高に通ったんですが、そのときの光高はもう、光井に来ておりました。

私は十期生で、三十三年の卒業です。先生が二十四年に光高校です。先生が二十三年が光高の一年。で、

藤本 二十三年が光高の一年。で、二年になるとき、つまり二十四年に東校舎に行った。



●藤本竹登（ふじもとたけと）

昭和 7 年生まれ。26 年光高等学校卒。★大阪大学歯学部卒業後、光市光井で藤本歯科診療所を開院。光高ほかの校医を務める。光市教育委員会教育委員・委員長、光市体育協会会長などを歴任。★光高同窓会第 6 代会長として学校創立 50 周年記念事業をすすめる、募金活動、創立 50 周年記念式典開催、光潮会館の建設、記念誌「五十年の思い出」発刊、校旗作成など突出した業績を残した。★平成 4 年 野球後援会会長に就任し、平成 5、6 年の連続甲子園出場への募金活動を展開。会長辞任後もヨット部を語る記念碑建立、野球後援会への寄付など支援を続けている。

岡村 私の母は二十四年に光高に勤め始めたんです。

藤本 私は、岡村さんのお母さんはよく知ってますよ。長く勤務しておられたので。

岡村 事務職でした。戦争未亡人で、働くところがないから、いろいろ探して、光高に事務職で就職したんです。

藤本 現校舎に行ったら、お母さんがおられた。

岡村 あの頃、光高の野球は強かったですよ。

藤本 昭和二十年代始めから三十年代の始めのころは強かった。当時、

広島県と対戦があった。

岡村 そうですね。それから光井（現武田薬品敷地内）に二十八、九年ごろ移った。そのころは移って間もないから学校で作業の時間がありました。

—— どんな作業ですか。

岡村 土をならすんですね。掘ったり、草を引いたり。それで、掘ったときに人骨がたくさん出て来たんですよ。どうして、あそこに人骨があったんだろうか、海軍工廠が八月十四日の爆撃を受けたからでしょうね。

光高は、まだ校舎ができただけ

で、体育館ももちろんなかったですし、野球場をつくる作業もしました。引き込み線の線路の枕木があったので、それを引き上げて、野球場のグラウンドのネットの柱にした。校舎は 6 棟の木造の校舎があった、全国の木造平屋建てのモデル校舎になっとったんです（裏表紙写真 3）。

野球場があつて、軟式野球場もあつて、四百メートルの公認トラックもあつて、全体で 3 万坪ありました。これは全部、当時の失業対策事業でつくったんです。それから後に五十メートルのプール、バスレーコートとテニスコート、バスケットコートもできて、体育館ができました。

—— 当時としては、すごく施設の整った学校だったんですね。

岡村 授業中の作業で一番思い出に残っているのは、羊を飼ってやったことです。川のそばに小屋があつて、生物の先生が羊を飼って、その羊を放すんですよ。そしたら羊が運動場の草とかをはむわけ。そして、群れで廊下に入つて来るから、もう授業にならないのね。開けっ放しで平屋でしょう。木造ですからね、廊下も。そこを羊がとことことこ歩いて、糞を廊下

にまき散らすのよ。だからその廊下の糞を掃除する、そういう思い出があります。

—— 何のために羊を飼ったんでしょう？ 毛を刈ってウールを織ろうとしたんでしょうか。

岡村 何かにしたんでしょうかね。藤本 ヤギやったら何となくわかる。

—— ヤギなら食べ物になるけど羊ですから。

岡村 ジングスカンでもしたんでしょうか。

—— 食べますか。やつぱり（笑）。

岡村 子供のころは、ヤギとかウサギとかも食べました、食べるものがないんだから。鶏はもろろんのことです。皆、家庭に飼ってました。本当にのんびりした学校生活でしたね、昭和三十年から三十三年当時。

羊もいたけど、授業中に武田薬品の薬の匂いがあるんですよ。発酵のにおいだと思えますが、十時ごろになつたら、ぷんと匂いがしてくるんですよ。六月とか七月とか南風が強いから、風に乗って。

藤本 それは何の匂いかね。あの頃、アリナミンなどを作っていたから。

岡村 アリナミンですかね。十時

ごろから匂うと、お腹がすいちゃうし。

藤本 あれはよう匂いよったよ。

岡村 そうそう。それから、敷地のすぐ隣が武田の牧場だから、校庭のすぐそばに柵があって、牛とか馬を飼って、馬に菌をつけてたんだね。ワクチンをつくるために菌をつけた。

—— 馬や猿を飼っていたんです。

岡村 ワクチンが皮膚についた馬なんか、そこらじゅうにいたんですよ。それでまた、その動物の糞のにおいがしてくる。

藤本 馬だと思うよ、血清をつくるための。

岡村 馬に菌をつけて、その菌を培養してたんでしょね。だから、校庭の横の武田の牧場に馬がたくさんいた。そういう思い出があります。

それから、体育の時間といってもプールがないんです。プールのかわりに中庭に池ができました。—— 池ですか。

岡村 スイレンが咲いて真四角の池。体育の水泳はそこでやりました。

汗だく！

総会は真夏の体育館で

岡村 僕が同窓会に関わるようになったのは、子どもが高校生のとき、育友会の会長から副会長になってくれと言われたのがきっかけです。光丘に行ってる子もいて、そこは同窓会の副会長になってくられて。光高と光丘の両方から来たんです。

藤本 両方ですか。

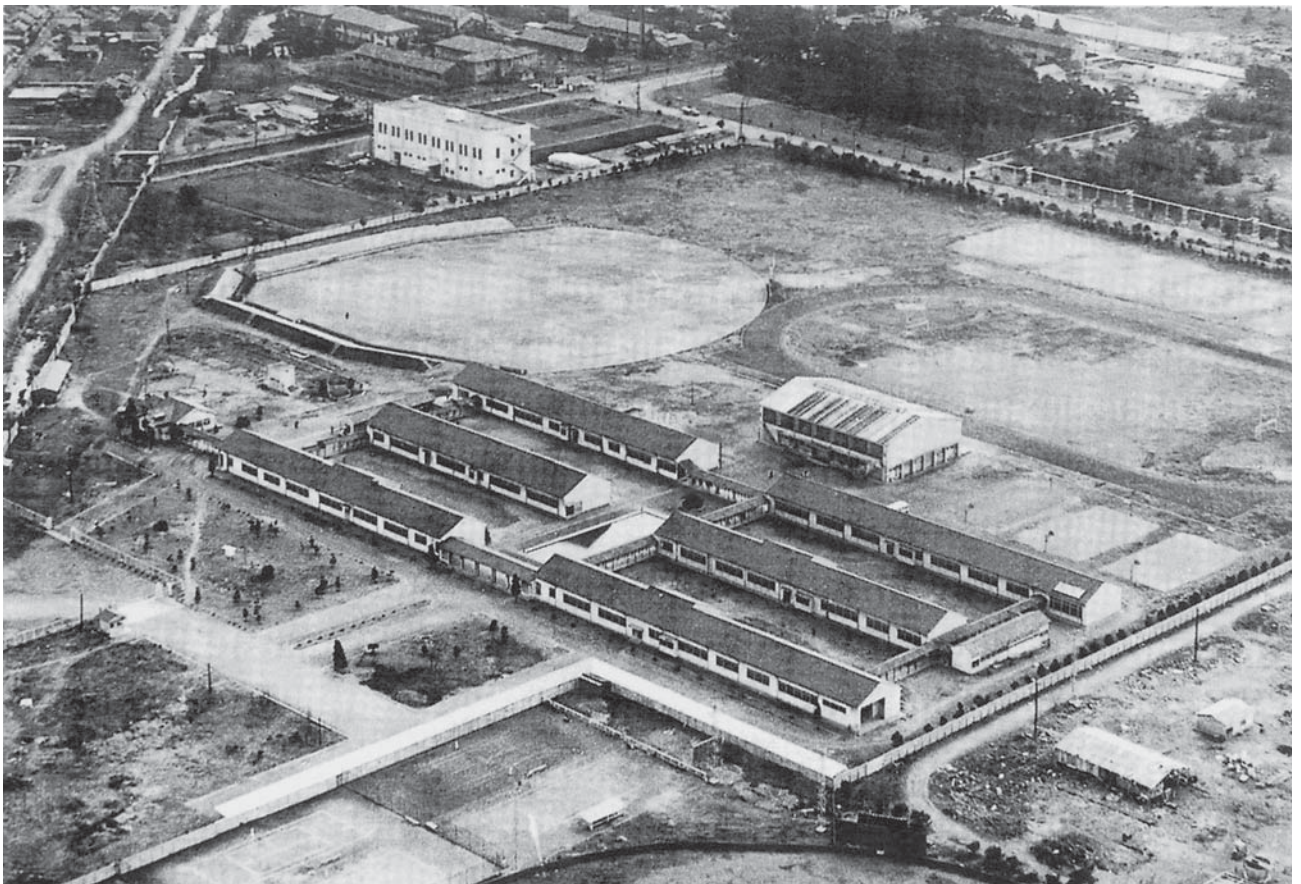
岡村 それじゃあ光高の育友会の副会長をやるのかということになったんです。子どもが卒業した後は、同窓会の何かの係になった。そのころ藤本先生が会長でした。

藤本 間違いなく私が引つ張ったのもある、特に広報のほうは。

岡村 はい。それで子どもが光高を卒業したら育友会のほうは切れますから、今度は同窓会のほうへ顔を出すようになった。藤本先生が私に「広報部長をやれ」と。先生には若いころからお世話になりっぱなしで嫌が言えんから、まあ仕方ない。十年近くやったでしょうか。

藤本 私がやめた後も、しばらく広報をやったからね。

岡村 広報誌を年に二回発行してました。新入会員を迎える三月と総会時の八月に。かなり厚いやつをね。



中央校舎（昭和26年起工）



●岡村晃治（おかむらこうじ）

昭和 15 年生まれ。33 年光高等学校卒。★光市役所に奉職。教育キャンプや野外活動などで社会教育、青少年教育を推進した。浅江出張所長、光市民ホール館長、文化振興担当部長などを歴任。★スキー、野外活動、魚釣り、野菜づくり、各種工作など幅広い分野を器用にこなす多彩な趣味人として知られる。ボーイスカウト活動にも長く関わり、隊長として多くの青少年を指導。★光潮同窓会広報部長として会報「光潮会報」の定期発行などを通じ、長年、広報活動の強化、同窓会の発展・活性化に寄与してきた。

藤本 当時の広報誌を見たら書いてありますが、同窓会が合併したのが昭和二十八年です。それまで、定時制と光高の関係と室積高女のほうと、同窓会が三つあったんですよ。これと一緒にすると決議したのが二十八年夏の総会で、あく年の四月から田村峰政さん（旧制光中一期生）が正式に初代の会長になった。正規の会員組織をつくって、役員を決めてというのは、その田村峰政さんが会長のときです（囲み参照）。

いたんです。まあ暑いこと暑いこと。真夏ですから汗が大変で、氷の氷柱を立てたり、扇風機を持ち寄りたり。それに、高校の体育館でビールを飲む。飲酒よね。本当にいいんかと思つて、はらはらしとつたんです。学校は見えて見ぬふりをしとるけど、本当はこれじゃいけないと思つとつた。

藤本 それはなかつたね。何百人もですから。藤本 まだ今の松原屋はなかつたし、その人数が集まる「入れ物」がない。岡村 その人数を集めるのにも、いかに集めるか、その方法を考えて、藤本先生に相談したら「おお、やろう」ということで福引というか抽選会を始めたんです。藤本 自動車とか絨毯とかワイプ口とか、会員のところの商品を提示してもらつて。岡村 物すごい豪華賞品でしたよ。それで、当たった人には原稿を書いてもらうことにしました。書かん人もおつたけどね（笑）。司会が私がおもしろおかしくやつて。藤本 一月の市内一周駅伝も、先導車を一人でやつた。よう声を通るし、芸人じゃ、晃ちゃんは。岡村 陸上競技のアナウンサー資格を持っていたんですよ。日本陸連のアナウンサー資格というのがあるんです。だから、トラック競技でも駅伝でも全部アナウンサーできました。

岡村 僕がやめた後の、兼永会長になって三年目、平成九年からでは松原屋ができたから？

3つの同窓会を統合。
「光潮同窓会」の名はどうやって決まったか？
「(前略) 統合合併した同窓会の名称をどうするかということで役員会で検討しました (中略) 色々審議した結果、同窓会の伝統も踏まえ、旧光中学校の『光龍同窓会』、旧制室積高女の『潮美同窓会』の両方から各々一字ずつ頭文字を取り、現在の『光潮同窓会』にすることに役員会・総会で決定されました。(後略)」
——「光潮会報 第 17 号 (昭和 61 年 8 月発行) 『光潮同窓会創立当時の思い出 光潮同窓会初代会長 田村峰政』より——

藤本 せんないじゃろう、光高の体育館でやつたら暑いし。一括購入で仕出し屋から料理を持つてきよつたが、いつ料理があたるかわからんし。でも、会費が千円じゃつた。

岡村 千円で豪華景品だね。藤本 だんだん食中毒もやかましくなつてくる。松原屋ができてから、「おお、あれに頼もう」と。そのかわり会費は高くなつた。今は三千円になつとる。

最近も総会に出ていらつ

しゃるんですか。

岡村 私は出てます。総会も、一時は五百人ぐらい来とった。

藤本 五百人というのが私の会長任期中の目標だった。

岡村 目標やったね。だけど、今ごろは地元就職してないし、生徒の数も少ないし。

藤本 卒業生も少ないから、新規に同窓会に入る人間もね。

岡村 減りましたね。

藤本 昔は、ほとんどの入学者が市内から来よったからね。今は個人情報の問題で、同窓会の名簿も昔のようなわけにはいかんし。

岡村 若いときには出てくるけど、世帯を持ってくると今度はいろんな家庭の行事があるでしょう。そのうち親の面倒を見るとかもある。だんだん出て来られなくなるんですよね。

—— 主婦だと、お盆には東京から子どもたちが帰ってくるから同窓会には出にくいという話も聞きます。

藤本 私らは、遠方の方が盆なら帰省するというんで、十一日から十四日までの間で考えた。十五日は戻りの都合があるからと、いろいろ試行錯誤して、どうしても第三土曜日になる。それは、人集め

の最終的な手段として決めた日程です。

—— 当時はお盆がよかったと思うんですけど、僕なんか、今は別にお盆でなくてもいいんじゃないかと思ったりします。

藤本 時々、他校の同窓会を新聞で見かけるけど、盆にやるとるよりも、徳高でも防高、山高でも五月とか六月に、下松高校も昔から盆とは別の日にやってる。そういう理由で盆は避けてるんかもわからんね。

岡村 昔より同級生同士のきずながないんじゃないですか。うちの子なんかね、聞いてみると、同じ学年の子の名前を知らんというんです。僕らのときは二百六十人おつたんです、六学級あつたから。でも男の名前は全部、顔も何もかも覚えてるし知ってる。今の若い世代は、友だちが二、三人と、そのグループだけ、クラブをやればクラブの仲間だけ知っていると。

—— 生徒数が多かったころのほうがきずなが強かったんですね。

岡村 そうなんよね。同窓会総会も昭和二十年代からずっと二百人台だったのが、昭和五十七年頃から三百人台へ。平成六、七年頃からまた二百人台になって、それで今

は百五十人前後になった。

藤本 同期会をやらんもんね。特に遠方の人を同窓会に集めようと思つたら同期会をやってもわらないとだめです。同期会に帰って来る便にくっつけて総会に出て来てもらう。

—— 中学校の同期会はよく集まるみたいですが。

岡村 旧友同士の結びつきが薄れていると、全体の同窓会というのをやろうとか、参加しようという気がなくなると思いますね。

藤本 私らの学年は、春は普賢まつりの後と十一月末ごろに集まつた。それを昨年(平成二十八年)で打ち切った。もうみな杖をついたり足を引きずっておつたり出席できなかつたりというのがあつて、「自然に廃れるよりは」というので、昨年の十二月五日に決議しました。松原屋に十二人集まつたけど、「元気なうちにやめようじゃないか」と言うて、今年から同期の集まりをやめたんです。

来春決定か？ 光高と光丘高との統合問題

岡村 今一番気になるのは、統合問題があるでしょう、光高と光丘の。

藤本 これは避けて通れんですよ。

岡村 そうなつたときに、この同窓会がどうなるんですかと。光潮同窓会というのが使えるのか使えないのか。学校の校名すら光高と残るか残らないか。残らないというふうなうわさもあるし、光丘にも同窓会があるのかなのか。

藤本 光丘にもあるよ。

岡村 そうですか。光丘と一緒になつて、同窓会を光潮会という名前にするわけにもいかならうし、どうなるか。しかも場所が——。

藤本 場所は非常に難しいね。

岡村 それに、光潮会館は？

藤本 そういうことですね。

岡村 その辺が気になりますね。

藤本 統合問題は、学校のほうは県がやることだけど、同窓会の合併というのは、名前とか会員が集まる場所をどこにするかと、いろいろと問題がある。生徒も、学校が今の光丘になつたら下松のほうから来る生徒は便利がええけど、市内の者の多くは、今は自転車通学している生徒もバスに乗ることになるかも知れんから交通費がかかる。

岡村 交通の便でいえば、市外から来る人には光丘がいいでしょう。

藤本 聖光は朝夕、スクールバスが回るけど。

岡村 施設について言えば、光丘にも野球場らしきものはあります。陸上競技場はないですね。光高には野球場も陸上競技場もある。

藤本 風景は光高のほうがいい。工場も見わたせて瀬戸内海が見える。

岡村 比較すれば施設は光高のほうが整っているだろうけど、耐震策はどうでしょう。

藤本 光高は耐震工事をしたね。——平成二十年ごろから二十四年までです。

藤本 その耐震補工事は、ペケの筋交いを外側から付けたんですか。でも野球の応援に行った時に見たけど後ろ側の校舎はやってないんじゃないですか。

—— そうですね。

岡村 やっぱり同窓会としては、統合は気になるところですよ。

藤本 減多にないけど大学でも統合問題はある。平成十九年に、大阪大学と大阪外国語大学(五百八十八名)が統合されました。

岡村 光丘と光高だと、歴史は光高のほうがずっと長い。

藤本 そういう父兄の意識とか卒業生の意識とかもある。光の場合

は人口減があつて、最後はやっぱり費用の問題がある、土地の問題とか校舎の建築とか。市川 熙市長が言うように今後もさらに人口は減るでしょう。生徒もまだ減っていく可能性があるから、県も差し当たり統合させたい。そうすれば校長も教頭も1人減るし、教務主任も減るから。

—— それはそうですね。

藤本 これから光市が人口も増えて発展するんじゃないけど、まだまだ減る。はっきり言えば底が知れんような感じです。我々が関与することじゃないけど。市も難しいし学校の経営も難しい。最大の原因は人口減なんよ。

岡村 人口が減るといふことはすごいことですね。

—— 興味深いお話ですが予定時間を過ぎました。長時間どうもありがとうございました。



部 活 動 の 足 跡

平成 28 年 7 月～平成 29 年 7 月

○ 野 球 部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月14日 ～ 4月19日	平成28年度春期山口県高等学校 野球大会 地区予選	ビジコム柳井スタジアム	1回戦 光 5-4 柳井学園 2回戦 光 2-5 熊毛南
7月17日	第98回全国高等学校野球選手権 山口大会周防部予選	津田恒実 メモリアルスタジアム	1回戦 光 1-2 徳山
8月11日 ～ 8月14日	平成28年度山口県岩柳地区 新人高等学校野球大会	ビジコム柳井スタジアム	2回戦 光 11-3 周防大島 準決勝戦 光 2-1 柳井 決勝戦 光 4-3 熊毛南 優勝
9月17日 9月21日 9月24日	平成28年度山口県体育大会 高校野球競技(硬式)	予選: ビジコム柳井スタジアム 決勝大会: 下関球場	2回戦 光 12-2 高水 代表決定戦 光 11-10 柳井学園 準々決勝戦 光 2-7 宇部鴻城 (ベスト8)
10月29日 11月3日 11月12日	平成28年度山口県高校野球 1年生大会	1. 2回戦: 光高校 3回戦: ビジコム柳井スタジアム	1回戦 光 7-0 聖光 2回戦 光 11-0 周防大島 3回戦 光 3-6 柳井商工

○ ソフトテニス部 (男子)

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月9日	平成28年度徳山支部 高校春季体育大会 ソフトテニス競技	恋ヶ浜テニスコート	○ 団体の部 1回戦 本校 2-1 新南陽 2回戦 本校 1-2 南陽工 ○ 個人の部 3回戦敗退
4月23日 ～ 4月24日	平成28年度山口県高等学校 春季ソフトテニス選手権大会	キリンビバレッジ周南庭球場	○ ベスト64 ・ 2年・3年 ペア ・ 1年・2年 ペア
4月30日	第23回光市長杯市民 ソフトテニス大会	光スポーツ公園	○ 第3位 ・ 3年・1年 ペア
5月1日	第45回柳井市広域 ソフトテニス大会	柳井ウェルネスパーク テニスコート	○ 第3位 ・ 2年・3年 ペア
5月21日	第16回東山口高等学校 ソフトテニスオープン大会	岩国市テニスコート	○ 3回戦敗退
6月4日 ～ 6月6日	第67回山口県高等学校 ソフトテニス選手権大会 (山口県高等学校総合体育大会)	宇部マテ“フレッセラ” テニスコート	○ 団体戦 1回戦 本校 3-0 徳山北 2回戦 本校 0-3 宇部工 ○ 個人戦 ・ ベスト64 ・ 2年・3年 ペア ・ 3年・3年 ペア
6月18日	競技者育成プログラムStep2大会 兼第71回国民体育大会ソフトテニス競技 山口県予選会(ダブルスの部)	宇部マテ“フレッセラ” テニスコート	○ 3回戦敗退
10月22日	平成28年度徳山支部 高校新人体育大会ソフトテニス競技	キリンビバレッジ周南庭球場	○ 団体の部 8位 ○ 個人の部 3回戦敗退
11月5日 ～ 11月6日	第7回中国高等学校 ソフトテニス新人大会 山口県予選会兼山口県体育大会	宇部マテ“フレッセラ” テニスコート	○ 団体の部 1回戦 本校 1-2 美祿青嶺 ○ 個人の部 ・ ベスト32 ・ 2年・1年 ペア ・ 1年・2年 ペア

○ ソフトテニス部 (女子)

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月9日	平成28年度徳山支部 高校春季体育大会ソフトテニス競技	徳山商工高等学校	○ 団体の部 1回戦 本校 3-0 下松 2回戦 本校 1-2 徳山 ○ 個人の部 ・ 2年・2年 ペア 準優勝
4月23日 ～ 4月24日	平成28年度山口県高等学校 春季ソフトテニス選手権大会	キリンビバレッジ周南庭球場	○ ベスト8 ・ 2年・2年 ペア
5月1日	第45回柳井市広域ソフトテニス大会	柳井ウェルネスパーク テニスコート	○ 第3位 ・ 2年・3年 ペア
5月21日	第16回東山口高等学校 ソフトテニスオープン大会	岩国市テニスコート	○ 第3位 ・ 2年・2年 ペア
6月4日 ～ 6月6日	第67回山口県高等学校 ソフトテニス選手権大会 (山口県高等学校総合体育大会)	宇部マテ“フレッセラ” テニスコート	○ 団体戦 2回戦 本校 0-3 防府商工 ○ 個人戦 ・ 2年・2年ペア ベスト64 中国大会出場

6月18日	競技者育成プログラムStep2大会 兼第71回国民体育大会 ソフトテニス競技 山口県予選会 (ダブルスの部)	宇部マテ “フレッセラ” テニスコート	○ 第1位 ・ 2年・ (岩商) ペア ○ 第4位 ・ 2年・ (岩商) ペア
7月18日	第27回 萩山杯ソフトテニス大会 (高校一般女子)	キリンビバレッジ周南庭球場	○ 第3位 ・ 2年・ 2年 ペア
7月22日	第59回中国高等学校 ソフトテニス選手権大会	宇部マテ “フレッセラ” テニスコート	○ 1回戦敗退
10月22日	平成28年度徳山支部 高校新人体育大会ソフトテニス競技	キリンビバレッジ周南庭球場	○ 団体の部 4位 ○ 個人の部 優勝 ・ 2年・ 2年 ペア
11月5日 ～ 11月6日	第7回中国高等学校ソフトテニス 新人大会山口県予選会 兼山口県体育大会	宇部マテ “フレッセラ” テニスコート	○ 団体の部 2回戦 本校 1 - 2 豊浦 ○ 個人の部 ・ ベスト 8 ・ 2年・ 2年 ペア

○ 卓球部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月17日	平成28年度徳山支部高等学校 春季体育大会	キリンビバレッジ 周南総合スポーツセンター 多目的ホール	男子団体第5位
4月23日 4月24日	平成28年度全国・中国高等学校 卓球選手権大会 山口県予選会	下関市体育館	○ 男子シングルス 2年…ベスト32 その他は3回戦までに敗退 ○ 男子ダブルス 3回戦までに敗退
6月4日	山口県高等学校総合体育大会 卓球競技	バタフライアリーナ	団体1回戦 光 1 - 3 岩国
9月17日	全日本ジュニア山口県予選会	山口市	2回戦までに敗退。 (個人戦シングルスのみ)
11月12日 ～ 11月14日	山口県体育大会	宇部市	○ 男子団体戦 1回戦 光 2 - 3 岩国工業 ○ 男子シングルス 4回戦までに敗退 ○ 男子ダブルス 3回戦までに敗退

○ バレーボール部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月17日	平成28年度中国高等学校 バレーボール選手権大会 山口県予選会	山口市	1回戦 本校 1 - 2 宇部西高
5月28日	徳山地区大会	下松市	1回戦 本校 0 - 2 下松高
6月4日	山口県総合体育大会	宇部市	1回戦 本校 2 - 0 周防大島高 2回戦 本校 0 - 2 防府西高
11月5日	第69回戦全日本バレーボール 高等学校選手権大会山口県代表 決定戦	周南市・下松市・光市	1回戦 本校 0 - 2 中村女子高
12月24日	徳山地区新人大会	周南市	1回戦 本校 2 - 0 光丘 2回戦 本校 0 - 2 徳山商工
1月14日	山口県高等学校バレーボール 新人大会	山口市	1回戦 本校 2 - 0 山口農 2回戦 本校 1 - 2 柳井商工

○ バスケットボール部 (男子)

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月9日	第60回中国高等学校 バスケットボール選手権大会 山口県予選会	宇部工業高等学校	1回戦 光 57 - 40 宇部西 2回戦 光 34 - 88 宇部工業
4月17日	平成28年度徳山地区春季地区大会	下松高等学校	1回戦 光 38 - 36 下松 準決勝 光 28 - 94 下松工業 3位決 光 34 - 57 徳山
5月28日	山口県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技	山口市	1回戦 光 101 - 24 防府佐波 2回戦 光 48 - 72 徳山商工
10月22日	第47回全国高等学校 バスケットボール選抜優勝大会 山口県予選	防府高等学校	1回戦 光 101 - 29 周防大島 2回戦 光 26 - 80 宇部
12月24日	新人大会 兼 山口県体育大会	下松市	1回戦 光 67 - 28 萩光塩 2回戦 光 76 - 74 田布施農工

○ バスケットボール部 (女子)

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月9日 ～ 4月10日	第60回中国高等学校 バスケットボール選手権大会 山口県予選会	宇部市 俵田翁体育館 他	2回戦 光 68-39 岩国 3回戦 光 85-50 聖光 4回戦 光 48-59 誠英
4月17日	平成28年度徳山地区春季地区大会	下松高等学校	1回戦 光 82-45 徳山 準決勝 光 57-53 柳井 決勝 光 64-40 徳山商工 優勝
5月28日 6月4日	山口県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技	防府市	1回戦 光 99-36 防府西 2回戦 光 101-45 宇部高専 3回戦 光 60-59 宇部商 準決勝 光 56-66 誠英
10月22日	第47回全国高等学校 バスケットボール選抜優勝大会 山口県予選	山口中央高等学校 西京高等学校	1回戦 光 81-61 田布施農工 2回戦 光 52-39 柳井 3回戦 光 45-76 宇部商
12月24日	新人大会 兼 山口県体育大会	周南市	1回戦 光 63-40 厚狭 2回戦 光 63-50 岩国商 3回戦 光 60-63 下関商

○ 陸上部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
5月28日 ～ 5月30日	第67回山口県高等学校 総合体育大会陸上競技	維新公園陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> 男子4×100mR 第6位…3年、3年、2年、1年 男子110mH 第3位…3年 男子400mH 第2位…3年 男子砲丸投 第3位…1年、第5位…3年 男子八種競技 第3位…3年 中国大会出場 <ul style="list-style-type: none"> 女子4×100mR 第2位…3年、3年、2年、1年 女子4×400mR 第4位…3年、3年、3年、2年 女子400mH 第3位…3年 女子円盤投 第3位…3年、第4位…3年 女子砲丸投 第3位…3年 中国大会出場
6月17日 ～ 6月19日	第69回中国高等学校陸上競技 対校選手権大会	岡山県陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> 男子砲丸投 第7位…1年 女子円盤投 第5位…3年 中国大会出場
7月29日 ～ 8月2日	第69回全国高等学校陸上競技 対校選手権大会	岡山県陸上競技場	女子円盤投 出場…3年
4月30日 ～ 5月1日	第43回山口県陸上競技選手権大会	維新公園陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> 少年B男子砲丸投 第1位…1年 女子4×100mR 第3位…1年、2年、3年、3年 中国大会出場 女子4×400mR 第3位…2年、3年、3年、3年 中国大会出場 女子砲丸投 第3位…3年 女子円盤投 第1位…3年、第2位…3年
8月20日 ～ 8月21日	第70回中国五県陸上競技 対抗選手権大会	岡山県陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> 女子4×100mR 出場…2年、1年、1年、1年 女子4×400mR 出場…2年、1年、1年、1年
9月16日 ～ 9月18日	第61回山口県高等学校 新人陸上競技大会	下関市宮陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> 男子400m 第3位…1年 男子1500m 第2位…2年 中国大会出場 男子走幅跳 第6位…2年 男子三段跳 第1位…1年 中国大会出場 男子円盤投 第3位…1年、第6位…1年 男子砲丸投 第1位…1年 中国大会出場 女子200m 第3位…1年 中国大会出場 女子100m 第6位…1年 女子400m 第6位…2年 女子400mH 第5位…1年 女子走幅跳 第6位…2年 女子4×100mR 第5位…2年、1年、1年、1年 女子4×400mR 第5位…1年、1年、2年、1年
10月15日 ～ 10月16日	第25回中国高校 新人陸上競技対校選手権大会	浜山公園陸上競技場 (島根)	<ul style="list-style-type: none"> 男子砲丸投 優勝 (大会新) …1年 男子1500m 第8位…2年
10月7日 ～ 10月11日	第71回国民体育大会	北上総合運動公園北上 陸上競技場 (岩手)	少年男子B砲丸投 出場…1年
11月6日	山口県高等学校駅伝競争大会	山口きらら博記念公園	女子8位 (1年、1年、3年、3年、1年)
2月5日	山口県読売駅伝2017	萩～美祢～山口	<ul style="list-style-type: none"> 2年…光市代表選手として出場 (2区 区間2位) 郡市の部 (一部) 総合第2位…光市

○ ヨット部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
9月19日	全日本セーリング選手権大会	新居浜市	<ul style="list-style-type: none"> 少年男子420級 優勝 (3年、2年) 少年男子レーザーラジアル級 準優勝 (1年)
9月30日 ～ 10月5日	第71回国民体育大会 セーリング競技会	岩手	<ul style="list-style-type: none"> 少年男子420級 優勝 (3年、2年) 少年男子レーザーラジアル級 優勝 (1年) 少年女子レーザーラジアル級 第5位 (3年)

10月13日 ～ 10月16日	JSAF Enoshima Olympic Week 2016	江の島ヨットハーバー (広島)	<ul style="list-style-type: none"> • Women's RS:X 第10位 (3年) • Mens RS:X 第17位 (2年) • Laser Radial Women & Men 第27位 (2年) • Laser Radial Women & Men 第 9位 (1年)
11月13日	全日本 29er級選手権大会	唐津市	<ul style="list-style-type: none"> • 29er級 準優勝 (2年、3年)
1月8日 ～ 1月9日	2016年度中四国 420級選手権大会	光市	<ul style="list-style-type: none"> • 少年男子420級 第2位 (2年、1年) • レーザーラジアル級 第2位 (2年)

○ 弓道部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月9日	平成28年度春季 徳山地区高等学校体育大会 弓道競技	周南総合スポーツセンター 弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体Aの部 <ul style="list-style-type: none"> • 女子優勝 • 男子予選敗退 ○ 団体Bの部 <ul style="list-style-type: none"> • 女子決勝敗退 • 男子予選敗退 ○ 個人の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも入賞者なし
4月23日 4月24日	第59回中国高等学校 弓道選手権大会山口県予選大会	山口県立 下関武道館弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも予選敗退 ○ 個人の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも入賞者なし
6月4日 6月5日	第67回山口県高等学校 体育大会弓道競技	周南総合スポーツセンター 弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体の部 <ul style="list-style-type: none"> • 女子2次予選敗退 • 男子1次予選敗退 ○ 個人の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも入賞者なし
9月24日	第24回中国高等学校 弓道新人大会山口県予選大会	山口県立 下関武道館弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも予選敗退 ○ 個人の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも予選敗退
10月29日	平成28年度徳山地区高等学校 新人体育大会弓道競技	周南総合スポーツセンター 弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体の部 <ul style="list-style-type: none"> • 女子Aの部 Bチーム決勝リーグ進出 (4位) • 女子Bの部 Cチーム (8位) • 男子の部 予選敗退 ○ 個人の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも予選敗退
11月5日	第35回全国高等学校弓道選抜大会 山口県予選大会 兼 平成28年度山口県体育大会 高校の部弓道競技	周南総合スポーツセンター 弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも予選敗退 ○ 個人の部 <ul style="list-style-type: none"> • 男女とも予選敗退

○ サッカー部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月9日 ～ 8月20日	ユースリーグ (第1節～第11節)	岩国総合高等学校 小野田工業高等学校 山口農業高等学校 南陽工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> • 第1節 光 4-2 合同 • 第2節 光 1-5 下関商業 • 第3節 光 0-12 岩国工業 • 第4節 光 0-5 野田学園 • 第5節 光 1-12 徳山B • 第6節 光 0-12 豊北 • 第7節 光 2-4 小野田工業B • 第8節 光 0-14 山口農業 • 第9節 光 1-2 成進B • 第10節 光 0-15 南陽工業 • 第11節 光 0-5 田布施農工
4月17日 4月24日	平成28年度高体連 徳山支部サッカー春季体育大会	徳山工業高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> 1回戦 光 2-8 徳山 リーグ戦 光 1-0 桜ヶ丘 光 1-1 下松工業 光 0-0 徳山商工 光 1-3 徳山高専
5月28日	山口県高等学校総合体育大会予選	小野田サッカー交流公園	1回戦 光 0-5 山口農業
10月23日 10月29日 10月30日	第95回全国高等学校 サッカー選手権大会 山口県予選会	小野田サッカー交流公園	<ul style="list-style-type: none"> 1回戦 光 2-2 宇部中央(PK3-2) 2回戦 光 3-1 高森・熊毛南 3回戦 光 0-9 小野田工業
12月17日	平成28年度高体連 徳山支部サッカー新人大会	徳山商工高等学校	1回戦 光 0-6 南陽工業
1月5日 1月6日	新春サッカー大会	徳山工業高等専門学校 日立前グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> リーグ戦 光 1-8 徳山高専 光 2-3 熊毛南 光 0-5 下関工業 光 0-7 田布施農工
2月3日	平成28年度第9回高等学校 サッカー新人大会 山口県予選会 兼 山口県体育大会(サッカー競技)	キリンビバレッジ周南 総合スポーツセンター	1回戦 光 0-9 岩国工業

○ 吹奏楽部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
6月17日	第38回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会	山口市民会館	出演(プログラム17番)
7月21日	平成28年度山口県 学校合奏コンクール	防府市公会堂	高等学校吹奏楽部門 銀賞
7月30日	第55回全日本吹奏楽コンクール 山口県大会	シンフォニア岩国	高等学校A部門 銀賞
12月27日	第40回全日本アンサンブルコン テスト山口県大会	不二輸送機ホール	打楽器五重奏…金賞 (3年、2年、2年、1年、1年) 木管三重奏…銀賞(2年、1年、1年)

○ 放送部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
6月4日	第63回NHK杯全国高校 放送コンテスト山口県大会	岩国高校	【アナウンス部門】: 3年 【朗読部門】: 3年、1年…朗読部門局長賞 【ラジオドキュメント部門】『ぐう～の音も出る』 【テレビドキュメント部門】『1分31秒の誓い』 【研究発表部門】『放送部よ、大志を抱け』 すべて全国大会出場
7月26日 ～ 7月28日	第63回NHK杯 全国高校放送コンテスト	オリンピック記念 青少年総合センター NHKホール	【アナウンス部門入選】: 3年 【テレビドキュメント部門】『1分31秒の誓い』 制作奨励
8月2日 ～ 8月3日	第40回全国高等学校総合文化祭	広島国際会議場	【アナウンス部門出場】: 3年 【アナウンス部門出場】: 2年 【オーディオピクチャー部門】 『海からの伝言』優秀賞
11月5日	第38回山口県高等学校総合文化祭 第23回山口県高等学校放送部大会	ニューメディアプラザ山口	【アナウンス部門】※2年(最優秀)、 ※1年(優秀)、1年(入賞)、1年(入賞) 【朗読部門】※1年(最優秀)、1年(入賞) 【ビデオメッセージ部門】 『神舞～千年の夜明け～』(最優秀) 【オーディオピクチャー部門】『ゆるぼら』(入賞) すべて中国大会出場 ※…全国大会出場
1月28日 ・ 1月29日	第2回中国地区高校放送コンテスト ならびに 校内放送活動研究集会広島大会	広島市青少年センター	【アナウンス部門】: 2年…優勝、 2年・1年…優良 【ビデオメッセージ部門】 『神舞～千年の夜明け～』第3位

○ 新体操同好会

月日	大会名	開催地	成績等の記録
4月24日	第57回中国高等学校体操競技 新体操選手権大会山口県予選会	豊浦高等学校	・ 個人総合 第2位…1年 中国大会出場 ・ 個人総合 第3位…3年 中国大会出場
6月5日	山口県高等学校総合体育大会	山口県 スポーツ文化センター	・ 個人総合 第3位…1年 ・ 個人総合 第4位…3年
6月18日	中国高等学校体操競技・ 新体操選手権大会	松江市総合体育館	・ 個人総合 第23位…1年 ・ 個人総合 第26位…3年
11月6日	平成28年度山口県体育大会	豊浦高等学校	・ 個人総合 第1位…1年

○ 芸術部

月日	大会名	開催地	成績等の記録
11月11日 ～ 11月13日	第38回山口県高等学校 総合文化祭 美術・工芸部門	周南市美術博物館	作品出品(2年)

(○ 硬式テニス)

月日	大会名	開催地	成績等の記録
11月19日 11月20日	第10回中国高等学校 新人テニス大会	備前テニスセンター (岡山県備前市)	○ 個人 第9位(2年) ・ 1回戦 光 6-1 岡山一宮 ・ 2回戦 光 6-2 安佐北 ・ 3回戦 光 4-6 倉敷青陵

(○ アーチェリー)

月日	大会名	開催地	成績等の記録
6月25日	第41回中国高等学校 アーチェリー選手権大会	土師ダムスポーツランド (広島県安芸高田市)	○ 個人 第64位 予選敗退(2年) ・ 70m①…199点 ・ 70m②…225点 計424点

(5) 現役合格者数(延べ数)(過去 6 年間集計)

学 校 名	24・3	25・3	26・3	27・3	28・3	29.3
国立大						
茨城大			1	1		
岡山大	1		1			
広島大	1		1			
山口大	3	8	6	5	8	3
香川大		1		1		
愛媛大				1		1
高知大				1		
福岡教育大	1		2			
長崎大	1					
宮崎大		1				
鹿屋体育大		2				1
国立大合計	7	12	11	9	8	5
公立大						
神奈川県立保福大	1					
都留文科大				1		
公立鳥取環境大				1		
島根県立大			1			1
尾道市立大					2	2
県立広島大	1			1		1
福山市立大						1
下関市立大		1			1	
山口県立大	4	2	6	1	5	3
山口東京理科大			※3	※2	1	1
北九州市立大		3		4	1	
熊本県立大				1		
公立大計	6	6	7	9	10	9
私立大						
国際医療福祉大				1		
城西大				1		
聖徳大						1
文教大	1					
尚美学園大			1			
城西国際大					1	
千葉工業大		1			1	1
北里大	1					
國學院大		1		1		
国士舘大				1		
駒澤大	1	2				1
産業能率大					1	
芝浦工業大		1	1			
昭和女子大					1	
専修大				2		

学 校 名	24・3	25・3	26・3	27・3	28・3	29.3
創価大	3					2
大正大						1
大東文化大	1					1
高千帆大	1					
拓殖大	1	1				
玉川大		1				2
中央大				1		
帝京大	1	4			1	3
東海大		3	1		1	3
東京家政大					1	
東京工科大		2				
東京女子体育大						1
東京電機大		2	2	2		
東京農業大	2	1				1
東洋大		1	2	3	1	
二松学舎大					1	
日本大	2	4	1	3	2	2
日本女子大				1		
日本体育大	1					
法政大				1		
東京都市大		1		1		
明治大	1					
明治学院大				2		
立正大				1		
早稲田大	1			1		1
神奈川大				1		
神奈川工科大				1		2
関東学院大	1	2			1	
相模女子大						1
諏訪東京理科大					1	
常葉大						2
愛知工科大		1				1
愛知工業大	1	2				
中京大		1	3			1
中部大		3				
名古屋芸術大						1
名古屋商科大				1		
名古屋文理大						2
名城大	1					
鈴鹿医療科学大					1	
成安造形大		1				1
平安女学院大		1				
大谷大		1			2	

学 校 名	24・3	25・3	26・3	27・3	28・3	29.3
京都外国語大				2	1	
京都学園大			1	1	1	
京都産業大	5	2	1	4	1	2
京都女子大	4	1				
京都造形芸大		1	2	2		
京都橘大		2				
京都ノートルダム女子大					1	
同志社女子大	1					
佛教大		2	1		5	1
立命館大	5	2	5	4	2	1
龍谷大	3	1	3	2	1	2
京都文教大				2		
大阪学院大				2		
大阪経済大		3	1			
大阪芸術大			1		1	
大阪工業大		3				
大阪国際大				4		
大阪体育大		1	1			1
大阪大谷大		2				
関西大	2	5	7	6	1	2
関西外国語大		2		2	1	
関西福祉科学大					1	
近畿大	2	15	2	3	4	4
四天王寺大				1	1	
阪南大	3		1		1	
桃山学院大	1		5			
摂南大		2	1			5
梅花女子大			1			3
大阪青山大		1				
大手前大		3				
千里金蘭大			1			
関西学院大	2	2	1	1	5	2
甲南女子大			2			1
神戸学院大		6	2	4	2	
神戸国際大		2				
神戸女子大		4	2	3		2
神戸親和女子大		1		2		
姫路獨協大		1	1			
武庫川女子大	1		2	2		
関西福祉大					1	
関西国際大		1				
関西看護医療大			1			
帝塚山大	1				1	
奈良大		1				

学 校 名	24・3	25・3	26・3	27・3	28・3	29.3
奈良学園大					1	
岡山商科大	1	1				1
岡山理科大	3	4	1	1	3	3
川崎医療福祉大	1	7	1		1	4
吉備国際大		7	1	1	4	2
倉敷芸術科学大	2	3	2	1		1
くらしき作陽大	1			1		
山陽学園大		1				
就実大	1	2	1			
環太平洋大			1	2	1	
エリザベト音大				1		
日赤広島看護大	1				1	
比治山大		5	1	1	3	1
広島経済大	11	5	8	2		5
広島工業大	4		12	9	4	27
広島国際大	1	8	13		8	2
広島修道大	10	8	5	6	7	4
広島女学院大	1	1	2	4		4
広島都市学園大	1	1		1	1	1
広島文化学園大		1	4	2	2	2
広島文教女子大	3	3	2	2	7	4
福山大	3	3	3		5	4
福山平成大	1	3		2		2
安田女子大	3	4	5	11	7	2
宇部フロンティア大		3	3	2	2	3
東亜大	1	1		1	1	
徳山大	2	1	1		1	2
梅光学院大	2	3	4	2	1	3
山口学芸大	1			2	1	4
四国大			1			
徳島文理大		1	1	2		
松山大	1	2	3	1		2
九州共立大	2		1		1	2
九州国際大	2			2	2	1
九州産業大	7	5		5	9	
九州女子大		2				2
久留米大	4	1		2	4	
久留米工業大		1		2	3	2
聖マリア学院大					1	1
西南学院大	2					
西南女学院大	2	1	2	1		
筑紫女学園大						1
中村学園大	1	1				
西日本工業大					1	

学 校 名	24・3	25・3	26・3	27・3	28・3	29.3
福岡大	6	6	9	3	2	3
福岡工業大	1		2		4	1
福岡女学院大			1	3		
九州栄養福祉大	1				1	
日赤九州看護大	1		2	1		
長崎外国語大					2	
長崎総合科学大			1		1	
日本文理大		1	1	2		
九州保健福祉大	2					
私立大学計	136	199	150	150	139	153
準大学						
水産大学校				1		
準大学計	0	0	0	1	0	0
公立短大						
川崎市立看護短大	1					
大月短		1				
静岡県立大短大部						
島根県立大短大部	2			2	1	
倉敷市立短大						1
公立短大計	2	0	0	2	1	1
私立短大						
東京交通短			1			
東京立正短			1			
洗足こども短大					1	
修文大短大部	1					
龍谷大短大部		1				
大阪青山短大					1	
大阪国際大短大部					1	
関西外大短大部	1				1	1
神戸女短					1	
川崎医療短			1	2	2	
山陽女短		1	1		4	3
鈴峯女短				1		
比治山大短大部	1	1	1		2	
広島文化学園短			1			
広島自動車短		1				
安田女短		3	1	2	1	1
岩国短			1			
宇部フロンティア短	1					
山口短		1	1			
山口芸術短	7	3	3	5	3	2
九州女短						1
香蘭女短	1			1		2
精華女短		1				

学 校 名	24・3	25・3	26・3	27・3	28・3	29.3
中村学園大短大	1	1				1
福岡こども短						1
福岡女学院大短			1			2
福岡女短	2					
福岡医療短				1		
福岡工大短大部						
私立短大計	15	13	13	12	17	14
専門学校						
看護	6	13	20	17	10	12
リハビリテーション	1	1	1	1	2	7
医療系(看護・リハビリ以外)	7		5	2	8	3
ビジネス	2	5	3	9	1	3
公務員	6	1	3	4		3
情報	1			2	1	4
調理師	4	1	1	3	2	3
保育・福祉	2		1		2	2
理工	1	3		1	1	
理美容	4		3	5	1	2
その他	2	1	2	3	4	1
専門学校計	36	25	39	47	32	40

平成 29 年度 光高等学校 離着任教職員

離任(退職)

職名	教科	氏名	在職期間	転出先等
教頭	社会	中村 勝則	1年	山口農業高校
教頭	英語	河野 宏和	1年	徳山高校定時制
教諭	社会	内田 恒敏	3年	再任用退職
教諭	数学	田房 伸行	6年	柳井高校
教諭	英語	梅地 真紀子	5年	南陽工業高校
教諭	英語	佐伯 淑美	半年	退職

離任者(退職)

職名	教科	氏名	在職期間	転出先等
非常勤	国語	増本 浩之	2年	退職
非常勤	理科	江口 葉月	1年	高森高校
非常勤	理科	酒井 美絵	1年	退職
非常勤	養教	田中 菊代	1年	退職

離任者(退職)

職名	氏名	在職期間	転出先等
事務長	牛嶋 守彦	2年	高森高校
臨時主事	弘 中 千里	1年	退職
非常勤職員	内藤 順治	2年	退職

新着住

職名	教科	氏名	旧所属
教頭	社会	岡本 努	小野田工業高校 定時制教頭
教諭	国語	宮地 文香	宇部西高校
教諭	国語	関 宏太郎	(民間企業)
教諭	社会	足立 理絵	(周防大島高校臨採)
教諭	数学	田村 信一郎	岩国工業高校
教諭	数学	藤本 一貴	(新南陽高校臨採)
教諭	理科	河野 将弘	兵庫県採用
教諭	英語	中村 佳代	(大阪臨採)

新着任

職名	教科	氏名	旧所属
非常勤	理科	水木 正志	岩国高校
非常勤	英語	岩崎 博子	下松高校
非常勤	養教	貞末 希美子	

新着任

職名	氏名	旧所属
事務長	磯部 健七朗	周南港湾管理事務所
臨時主事	手島 莉子	新規
非常勤職員	播元 孝子	新規

編集後記

昨年十月、例年通り四ツ谷で開かれた関東支部総会に出席し、二次会に昨年で事務局長を退任した藤井政道さんや若手諸氏と、守田会長おすすめの「有薫(ゆうくん)酒蔵」(写真)に流れた。ここは全国の高校別ファイルで有名な居酒屋で、訪れた人は自分の出身校のよせがきノートに書き込みができる。肴もなかなか旨く、光高のノートを回し読みしながら楽しいひと時を過ごした。新橋駅より歩2分。東京で出会える「光高」だ。

その光高は昨年、創立80周年を迎えた。同窓会の発足は昭和28年。初代会長の田村峰政氏のご尽力により「光潮会」と命名された後、20年余りを経て昭和50年に「光潮会報」が創刊されている。今号で第70号になることを記念し、多大な功績を残された第6代光潮会会長の藤本竹登氏と、同時期に広報部長として活躍された岡村晃治氏に、光高と光潮会の歴史を振り返っていただいた。今では当たり前のように存在する「高校」も多くの人々の助力や熱意の賜物だ

ということを再認識した。ましてや任意団体である同窓会はおおさらだ。改めて先輩諸氏に感謝したい。

広報委員 来戸由起子
(昭和47年卒)



噂の高校別ファイル三千冊は、壁一面にぎっしりで、まるで図書館のよう。



山口県立光高等学校校歌

光高校校歌選定委員会 作詞
信時 潔 作曲

♩=108 ca. 力強く
mf



平成 28・29 年度 光潮同窓会役員

職務	氏名	卒	担当	職務	氏名	卒	担当	職務	氏名	卒	担当
顧問	河口 郁史		光高校校長	幹事	松尾 尚慈	S 39	企画・運営	幹事	松並 宏昌	H 2	広報
顧問	磯部健七朗		光高校事務長	幹事	大川 博幸	S 43	○広報	幹事	佐々木孝高	H 3	広報
顧問	岡本 努		光高校教頭	幹事	兼清 照久	S 45	組織・会則	幹事	北川 宣孝	H 8	広報
顧問	末永 和史		光高校教頭	幹事	時盛 真	S 47	組織・会則 野球後援会長	監査	泉屋 孝	S 35	
会長	守田 義昭	S 42		幹事	来戸由起子	S 47	広報	監査	小林 敬典	S 45	
副会長	小林 一登	S 43	◎広報	幹事	木村 則夫	S 49	企画・運営	事務局	宮秋 孝史	S 57	
副会長	富田木綿子	S 54	広報	幹事	水本 茂則	S 61	組織・会則 全日制 PTA 会長	事務局	原田 浩志	S 61	
副会長	田中 謙史	S 61	企画・運営	幹事	芳岡 統	S 62	広報	事務局	橋本健太郎	H 4	
幹事	市来健之助	S 32	◎企画・運営	幹事	山根 猛寿	S 62	広報	事務局	中村 亮	H 10	
幹事	酒井 隆行	S 35	◎組織・会則	幹事	濱岡 正美	S 63	広報	事務局	末岡美由紀	H 8	
幹事	木村 幸子	S 37	企画・運営	幹事	小野美智恵	S 63	広報				



同窓会館竣工式（昭和63年7月）
『山口県立光高等学校六十年史』より（本誌p 541 及び p 544 参照）



光高50周年記念式典（昭和61年11月）